

「床版用水抜きパイプ」 クワトロ・ドレーン 取扱い説明書

「クワトロ・ドレーン」を正しく使用する為に、この説明内容を参考にすると共に内容をよく理解のうえ正しくご使用ください。

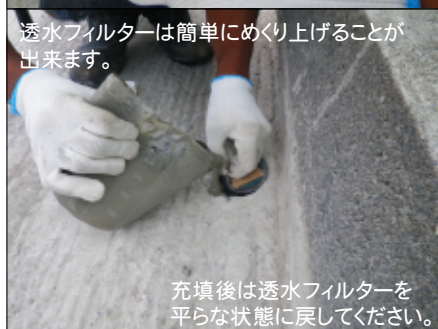
施工要領



鉄筋を避けてコア削孔を行います。

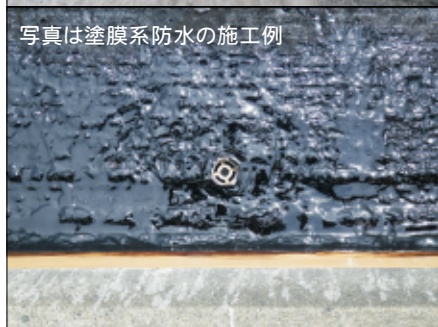


シールテープは1周以上させてください。



透水フィルターは簡単にめくり上げることが出来ます。

充填後は透水フィルターを平らな状態に戻してください。



写真は塗膜系防水の施工例



ハンドローラーで簡単に収縮させることが出来ます。

密着させる事が出来ます

※収縮前

コア削孔

鉄筋探査を行ったのち、適した場所にコアボーリング削孔を行います。
推奨コア径は55~60mm程度にて行ってください。

間詰材用テープ

コアにより床版の厚さを確認し、床版下面から間詰材が漏れないように、付属のシールテープを本体に巻き付けます。

間詰材投入

本体を床版にセットし、空隙に間詰材を投入します。
間詰材に指定はありません。
エポキシ系の注入材や無収縮モルタルなど、収縮しにくく流動性のある材料を選定してください。

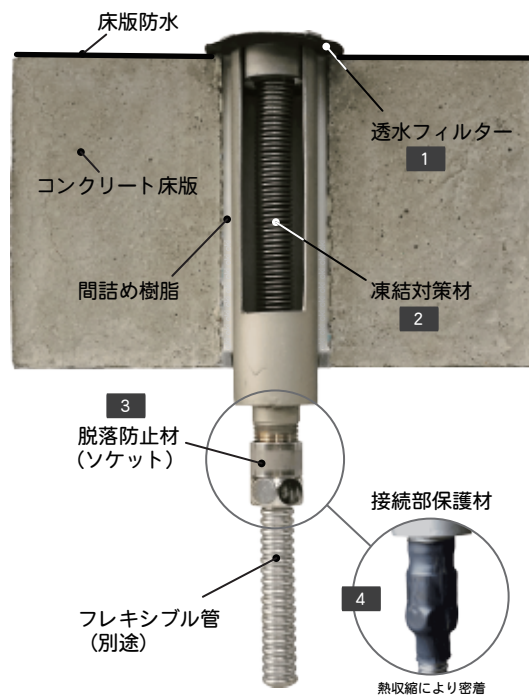
床版防水

本体の上面フランジが隠れるように床版防水を施工してください。
床版防水の種類には塗膜系やシート系があります。
どちらにもお使い頂けます。

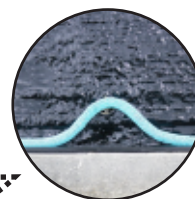
フレキ管接続

別途、フレキシブル管を接続する場合は、桁や沓座面などに排水が掛らないように適した位置まで配管を行ってください。接続部は、付属の熱収縮チューブを使い保護してください。

断面イメージ



導水管を使用する場合は上を通すとより効果的です。



新設用

別途キャップを使用することにより、新設にもお使い頂けます。



※ 性能向上のため、掲載されている製品の仕様等を予告なく変更する場合がございますのであらかじめご承知ください。